



事業名 丹後万博2023～守ろうで、丹後のええもん～



取組の概要

丹後万博2023は、京丹後市で高校生が企画・運営するSDGsの祭典です。昨年に引き続き、2023年も10月28日に「～守ろうで、丹後のええもん～」をテーマに開催しました。

自然、人、伝統、食、産業など、さまざまな丹後のええもんを未来につないでいくために今できることは何なのか。

世界共通の目標であるSDGsの視点をもとに、高校生が企画した19コンテンツが出展され、約2500人もの来場者を楽しませました。

高校生のアイデアがきっかけに！



2021年、京丹後市がSDGs未来都市に選定されたことをきっかけに、SDGsの考え方を取り入れたまちづくりが本格的にスタートしました。

SDGs推進事業の一つとして、「SDGs未来都市・ゼロカーボンシティ推進フェアin京丹後」を開催した際に、峰山高校の高校生から「丹後万博」のアイデアが発表され、イベント開催に係る費用を市が予算化し、2022年に第1回の丹後万博を開催しました。

2023年度は、市内の高校生20名を中心とした「丹後万博開催実行委員会」がコンテンツの企画や広報活動、当日の運営を行いました。

当日はSDGsをテーマにした、草木染と着物リメイクのファッションショー、ジビエカレーや昆虫食の提供、海ごみを活用したアート作品の展示など、様々なコンテンツが出展されました。約2500名もの方にご来場いただき、高校生や家族連れで賑わいました。

高校生が企画・運営！



丹後万博は、これからの時代、SDGs推進の中心世代となる高校生が企画・運営するSDGsの祭典です。高校生ならではの独創的かつ、学校での学びを活かしたコンテンツが特徴です。

また、2023年度は「バーチャル丹後万博」と称し、ネット上にメタバース空間を制作し、ステージ発表のライブ配信や高校生のコンテンツ紹介動画を掲載し、当日、会場に来れない方でも丹後万博をお楽しみいただけるよう工夫しました。

イベントをさらに盛り上げる工夫として、会場では福祉アプリ「みまもりあいアプリ」を活用したデジタルスタンプラリーを実施しました。高校生の体験・展示ブースを訪れ、デジタルスタンプを集めた方には、高校生が作った昆虫食クッキーや農作物等をプレゼントしました。

京丹後からSDGsを発信！



将来を担う高校生が、SDGsをテーマにコンテンツを出展することで、イベントに訪れる方にもSDGsを身近に、自分事に考えてもらえると考えています。

高校生の想いをきっかけに、地域でもSDGsの考え方が広まっていくよう、今後もイベントを継続していきたいです。

また、現在は京丹後市のみで開催していますが、将来的には丹後地域にエリアを広げて、さらにSDGsの取り組みが広がるようなイベントにしていきたいです。

今後も高校生の取り組みを通して、京丹後からSDGsを発信していきます！

360°
EXPO

360°EXPO拡張マップ

京都府京丹後市

丹後万博2023～守ろうで、丹後のええもん～



問い合わせ先:京丹後市 政策企画課

担当者:北尻・青木

URL:<https://kvotango-sdgs.jp/>

Mail:kikaku@city.kvotango.lg.jp

